

2009年「月寒川にぎわい川まつり」サポート報告

鳥谷部 晃綱

今年は夜半に若干雨が降り、天気予報では午後から「雨」というなか、ちょっとやきもきさせられましたが、例年どおり開催されました。

寒くはなくカンカン照りでもなく、川遊びにはとても良い天候でした。

1. 当日までの経緯

白石区役所より連絡があり、下記の日程で実行委員会に出席しました。

昨年と同様に、川の探検隊のサポートとして隊長他数名の要員、環境学習の依頼がありました。

- ・第1回実行委員会 平成21年6月2日 18:30～ 板谷さん、安部さん、鳥谷部出席
- ・第2回実行委員会 平成21年7月2日 18:30～ 板谷さん、鳥谷部出席

2. 当日の状況

当日は快晴ではないものの日差しも若干感じられるような曇天で、始まりましたがそろそろ後片付けに掛かろうかという午後2時頃から雨が降り出し、撤収時にはかなりの降りにやられました。

- ・開催日時 平成21年7月25日（土） 10:00～15:00

(1) 環境学習（自転車発電他）[担当：安部さん、鳥谷部]

今年は、メインに「自転車発電機と水車発電で電球を点灯」を用意し、その他として自転車発電側には「水の電気分解」の理科実験を見せることができるものを用意しました。

自転車発電機は、昨年同様のものを使用（DC100V、2A 定格）し、40Wの電球を点灯させるようにしました。

また、今年は水車に自転車発電と同様の発電機を設置し、本当の「大水車発電」を行い、自転車発電と同じ電球を点灯できるようにしました。

これらにより、自転車発電と水車発電の発電量の相違を感じてもらおうと考えました。



[大水車発電]



[自転車発電]



[発電機で点灯する電球]



[大水車での発電状況]

その他、パンフレットの的なものを 20 部用意しましたが、ほぼ全数が配布できました。看板は例年とおりに安部さんに用意していただきました。

環境学習側の会場はテントを二張り・机 2 台を用意してもらいました。(基本的にはテントは一張りでも問題ないですが、降雨時の対応を考えると二張りはあった方が良いです。)

発電実験は、大水車の回転が不足してあまりピカーッと点灯しませんでした。子供達の自転車発電があっさり大水車を上回る結果になってしまいました。(来年は、プーリーの径と水量を調整します。)

(2) 環境体験 (川の探検隊サポート) [担当: 板谷さん、鈴木さん、西村さん]

川の相談室さんが主体で実施していますが、そのサポートとして探検隊の隊長として板谷さん(午前中のみ)、子供たちの案内役等で鈴木さん・高橋さんが実施しました。

午前・午後の各 1 回 20 人の子どもたちを約 1 時間半、月寒川を歩いて魚を採ったりしながら探検し、探検の終了後は西村さんから川の生物についてのお話を子ども達に行いました。

昨年河床が改修され真っ直ぐになってしまいましたが、今年は草も生え魚達も戻ってきているようでした。



[ただいま探検中]



[探検後の講義に見入る子供達]

3. その他

(1) 来年に向けて

自転車発電と同様の発電機で10W程度しか水車から得られなかったのは計算外でした。

昨年は、水量が十分に当たっていたのですが今年は若干少なかったようです。来年も水量などを工夫していきたいと考えています。

(2) 余談

雨が本降りになり片付けも始まりだしたころ、あるお母さんから「子供がいない！」という申し出があり、会場は一時騒然としました。

残っていた人たちで、あたりの捜索を行い、会場担当の白石区役所の方が警察に連絡してパトカーが出動してくるなど、事件発生！となりましたが・・・

子供さんは一人で先に家に帰ってしまっていたという落ちで、一件落着。

無事で何よりでした。

以上